

東北大学附属図書館報

木這子



BULLETIN OF
THE TOHOKU UNIVERSITY LIBRARY

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

図書館業務電算化の進捗状況について

62年4月事務組織換により、本館総務課に学術情報掛が新設され活動を開始した。同掛は掛長と掛員1名の計2名であるが、3名の協力員（兼務）をおき、システムの総合的運用の拠点、およびその窓口としての役割りを果たすこととなった。

図書館業務の電算化は、メーカーからのプログラムリリースが逐次順調に行なわれ、館員は連日そのテストや調整に追われている。また、一部本稼動に入ったサブシステムもあり、図書館業務の機械化は大きく前進しつつある。以下システム開発の業務別各班について報告する。

目録業務検討班 学内目録業務担当者を主たる対象に、昨年11月から週3回のペースで合計48時間に及ぶ「学術情報センター目録システム講習」を実施した。その後半は入力の実戦的修練に充て、入力レベルの向上に努めて来た。現在のところ、目録システムのテストを兼ねた学術情報センターおよび学内システムへの登録件数は400件にすぎないが、6月からの目録サブシステム本稼動にむけて万全の準備を整えつつある。

閲覧業務検討班 1月以降12回の班会議を行った外、数次に亘る担当者への講習、実習等を行った。また、膨大な利用者データの作成、利用証の作成とその交付等深夜に及ぶ作業も順次処理し、4月1日から本・分館一斉に閲覧サブシステムの本格稼動を開始することができた。

検索システム検討班 2月末から7回の班会議

で検討を進めて来た。一方、閲覧・参考業務担当者への学術情報センター目録検索および学内蔵書検索についての講習を数次に亘り行った外、各分館に出向いても実施し、4月28日の検索システム本稼動を迎えることができた。現在当班は検索マニュアルの作成を急いでいる。なお、本・分館の利用者用端末機は、利用者が機械検索になじめないのではないかと我々の懸念をよそに、常に検索を行う利用者が絶えず、正にコンピュータエイジの到来を実感させられている。

受入業務検討班 図書の受入業務にかかわる図書管理サブシステムの本稼動は他業務より遅れて開始するため、4月～5月は基本設計書のレビューを行ない、以後のリリースを受ける準備に充てている。その間、分館毎に順次図書OCRラベルを作成し、本分館受入業務担当者を対象に帳票類作成のための講習と実習とを実施した。

雑誌業務検討班 3月27日に受入雑誌ファイル準備のための購入雑誌契約データ入力作業説明会を行ない、4月1～3、6～9日に本・分館・部局図書室の担当者による入力作業を本館内の端末を使用して行なった。また、入力データのチェック作業を行なったうえで、4月24日および28日の2回受付処理の説明会と実習を実施し、5月1日からは各部局端末から合計約7,000件に及ぶ外国雑誌の受付処理を開始した。

第15回外国雑誌 センター館会議

標記の会議が、昭和62年2月26日(木)、14時～17時、東京工業大学附属図書館会議室で開催された。

出席者は、文部省から学術情報課長、同係員、各外国雑誌センターから、次の各大学関係者の合計29名であった。

医学、生物学系——大阪大学、東北大学、九州大学

理工学系——東京工業大学、京都大学

農学系——東京大学、鹿児島大学

人文、社会科学系——一橋大学、神戸大学

会議は、先ず、文部省学術情報課長及び東工大附属図書館長の挨拶があり、次いで各外国雑誌センター館から、現状、利用の趨勢、昭和62年度収集誌選択の方針、今後の課題等について報告があった。

続いて協議に入り、「外国雑誌センター館現行受入雑誌目録1986年版」の刊行、国立大学における自然科学系外国雑誌の収集状況等の調査について、外国雑誌センター館における外国雑誌の収集の在り方について、学術雑誌総合目録のオンライン検索サービスの開始とILLシステムへの対応、等について話し合われた。

翌2月27日(金)、10時～12時、外国雑誌センター館事務打ち合わせ会議が、同じ会場に於て前記の各センター館から18名が出席して開催された。協議された主な事項は次のとおりである。

1. センター館雑誌の「学術雑誌総合目録データベース」への書誌、所蔵登録について。2. 新規購入希望雑誌および既収誌の重複調整について。3. 「外国雑誌センター館現行受入目録1986年版」の編集、刊行について。

第18回国立大学図書館 東北地区協議会

標記会議が去る4月15日・16日の両日、岩手大学において開催された。本学から塚本図書館長、松川事務部長、及川総務課長、志賀庶務掛長、医学分館阿部事務長、北青葉山分館石田管理掛長、工学分館川村整理運用掛長の7名が出席した。

協議に先立ち、岩手大学石原図書館長の挨拶があり、続いて議長は慣例により当番館の石原館長が選出された。

出席者の自己紹介の後、議事に入り、松川事務部長から国立大学図書館協議会の活動並びに東北地区大学図書館協議会総会関係について報告があった後、第34回国立大学図書館協議会総会提出議題等について審議すると共に、東北地区としての総会提出議題を次のとおり決定した。

- (1) 学術情報システムネットワークの整備・拡充について
- (2) 学術情報資料購入費の確保について
- (3) 電算化のための研修の充実について

次いで「大学図書館の公開に関する調査研究班報告書」に対する対応と現況について、各館からそれぞれ説明があった。

また昭和62年度の理事・地区連絡館・所属部会等について次のように確認した。

理事館 弘前大学(第1部会)

理事館及び地区連絡館 東北大学(第2部会)

次期当番大学 秋田大学

上記会議の終了後引き続き、第4回東北地区国立大学図書館機械化ネットワーク協議会が開催され、図書館業務機械化開発専門委員会報告と各大学の図書館業務電算化状況について説明があり、審議の結果、同ネットワーク協議会は任務を果たしたものと認め解散することとした。

なお、図書館業務電算化のより一層の円滑なる運営を図るため、実務者レベルでの情報交換の場を設けることについて今後検討することとした。

記念資料室だより

当室は、「東北大学五十年史」が編集されたとき、各部局や包摂校である旧制二高・仙台工専などの関係資料が収集されたのを機会に、昭和38年7月、設置された。その後、昭和48年11月には川内地区へ、更に昭和61年10月に片平地区の改修された旧図書館本館に移転し、現在に至っている。

副室長であった原田隆吉先生は、当資料室設置時から昭和62年3月に退官されるまで多くの資料の収集・整理・保存に当るとともに、当室の基礎づくりに活躍された。

本年4月から記念資料室の新たな出発として逐次担当職員が配属されることとなった。

私が着任して初めて当室に入った時は、まだ気候も肌寒く、暖房器具もない鉄筋コンクリート造りの内部はひたすら冷えびえとしており、早速とりかかるべき仕事も皆目見当がつかず、まことに心細い限りであった。現在は3名の職員が揃い、人員・機動力の面でかなり充実し、実働体制が整

ったところである。そして、業務面での新しい構想も煮詰りつつあり、共同作業も軌道にのりつつある。しかしながら、仕事の中味については全員が全くの素人であるため勝手がわからず、図書館の方に多々お手数をかけて来ました。とはいっても、この資料室業務の遂行には熱意をもって取り組む所存ですので、今後共何分のご支援・ご協力を願う次第です。

なお当資料室では、来る6月22日本学創立記念日に際し、本学開学八十周年記念事業の一環として記念資料の展示会を行うことになり、目下それに向けての準備に鋭意努力中であります。

この展示会は、当室所蔵資料の本格的な整理・保存へ向けての準備的取り組みとしても大きな意味合いを持つものであり、また文字通りの初仕事でありますので、納得のいく成果を是非得たいと念願しております。

(樋口記)

附属図書館商議会商議員名簿

62. 4. 1 現在

所 属	氏 名	任 期	所 属	氏 名	任 期
図 書 館 長	塚 本 哲 人		薬学部教授	原 田 一 誠	61. 4. 1～63. 3. 31
医学分館長	笹 野 伸 昭		工学部教授	守 田 徹	62. 4. 1～64. 3. 31
北青葉山分館長	高 柳 洋 吉		農学部教授	山 下 恭 平	〃 〃
工学分館長	斎 藤 伸 自		教養部教授	岩 田 恒 一	62. 4. 1～63. 3. 31
農学分館長	堀 口 雅 昭		金 研 教 授	小 松 啓	62. 4. 1～64. 3. 31
事務局 長	遠 藤 丞		農 研 教 授	服 部 勉	62. 4. 1～63. 3. 31
文学部教授	玉 懸 博 之	62. 4. 1～64. 3. 31	選 研 教 授	南 條 道 夫	〃 〃
教育学部教授	永 淵 正 昭	〃 〃	通 研 教 授	稲 葉 文 男	61. 4. 1～63. 3. 31
法学部教授	広 中 俊 雄	61. 4. 1～63. 3. 31	抗 研 教 授	田 中 元 直	62. 4. 1～64. 3. 31
経済学部教授	原 沢 芳太郎	62. 4. 1～64. 3. 31	科 研 教 授	矢 田 慶 治	62. 4. 1～63. 3. 31
理学部教授	桜 井 英 樹	61. 4. 1～63. 3. 31	速 研 教 授	谷 順 二	62. 4. 1～64. 3. 31
医学部教授	勾 坂 馨	〃 〃	非水研教授	池 上 雄 作	〃 〃
歯学部教授	加賀山 学	62. 4. 1～64. 3. 31			

図書館業務電算化委員会要綱の制定について

本学における図書館業務の電算化は本年度に入りいよいよ開発段階からシステム運用段階へと進行している。4月1日からは電算化体制の効率的な運用を図るため図書館専門員を整理課から総務課に所属を移すとともに企画・渉外掛にかわって学術情報掛を設置して関係業務の処理を行なっている。

こうした状況に呼応して、本学の図書館業務電算化の中・長期的な運用全般にわたる基本的事項を策定し、全学的視野に立った連絡調整をその主たる任務とする標記委員会が従来の電算化推進室を発展的解消し新たに設置され、以下に掲げるようにその要綱が62年5月1日から施行となった。

図書館業務電算化委員会要綱

(設置)

1 東北大学における図書館業務の電算化に関し、その運用を円滑に進めるため、図書館業務電算化委員会（以下「電算化委員会」という。）を置き、その業務を分担させるため、次の2班を置く。

- (1) システム運用総括班
- (2) 業務別運用班

(組織)

2 電算化委員会は、次の各号に掲げる者をもって構成し、館長が委嘱する。

- (1) 本館の部課長、専門員、学術情報掛長及び業務別運用班主査の職にある者
- (2) 分館及び金属材料研究所図書室の事務責任者
- (3) 調査研究室研究員（石垣助手）
- (4) その他館長が指名した者

(各班の構成)

3 システム運用総括班は、次の各号に掲げる者

をもって構成する。

- (1) 学術情報掛長
- (2) 業務別運用班の主査
- (3) その他館長が指名した者

4 業務別運用班は、次の5班とし、館長が指名した者をもって構成する。

- (1) 雑誌業務班
- (2) 目録業務班
- (3) 受入業務班
- (4) 閲覧・ILL業務班
- (5) 検索業務班

(委員以外の者の出席)

5 電算化委員会が必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求め、説明又は意見をきくことができる。

(任務)

6 委員会等の任務は、それぞれ次のとおりとする。

1) 電算化委員会

- (1) 業務電算化に関する基本的事項の策定
- (2) 業務電算化の運用に関する全学図書館・室の連絡調整

2) システム運用総括班

- (1) 各サブシステムの総合的調整
- (2) プログラムの修正及び変更等の検討

3) 業務別運用班

- (1) 各業務システム移行計画の策定及び実行
- (2) 各業務システム説明会等の計画及び実施
- (3) 各業務システム操作マニュアル等の作成
- (4) 各業務システムの調査及び検討

(責任者及助言者)

7 電算化委員会は、附属図書館事務部長が責任者として会を運営し、各課長がこれを補佐す

る。調査研究室研究員（石垣助手）は、専門的事項について助言を行う。

- 8 システム運用総括班は、総務課長を責任者とし図書館専門員がこれを補佐する。業務別運用班のうち雑誌業務班、目録業務班、受入業務班については整理課長を、閲覧・ILL業務班、検索業務班については閲覧課長を、それぞれ責任者とする。

（事務）

- 9 この要綱に定める電算化委員会及びシステム運用総括班に関する事務は、学術情報掛が担当し、業務別運用班に関する事務は、各班の主査が属する掛が担当する。

（雑則）

- 10 「図書館業務電算化推進室の設置について」（昭和60年6月4日制定）は、廃止する。

付 則

この要綱は昭和62年5月1日から施行する。

システム運用各班構成員

（要綱3及び4による）

1. システム運用総括班

*湯本一義、佐藤正弘、村岡 徹、栃原孝夫、武田光佳、菅野博之、佐藤義則、米沢 誠、菊地房雄、松井好次、阿部佳市（医分）

2. 業務別運用班

（1）雑誌業務班

*佐藤正弘、佐藤義則、湯本一義、米倉 進（医分）、岡崎照子（北分）、大沼和子（工分）、湯本智子（農分）、寺崎幸子（金研）

（2）目録業務班

*村岡徹、佐藤定夫、松井好次、菊地房雄、阿部佳市（医分）、吉川文子（医分）、佐々木勝義（北分）、岩崎道子（工分）、菅原淑子（農分）、藤田優美子（金研）

（3）受入業務班

*栃原孝夫、湯本一義、松本義正、南館義孝、高橋宏知、阿部佳市（医分）、石田義光（北分）、吉川和幸（工分）、森脇ちか（農分）、牧野みね（金研）

（4）閲覧・ILL業務班

*武田光佳、米沢 誠、芳賀 博、嶺岸文男、湯目昌史（医分）、木村元子（北分）、川村隆男（工分）、丸本六穂（農分）

（5）検索業務班

*菅野博之、松井好次、高木 忠、菊地房雄、阿部佳市（医分）

*：主査

事務局

小野和夫（図書館専門員）Tel. ext. 2440
湯本一義（学術情報掛長）" " 2408
佐藤義則（学術情報掛員）" " 2409

昭和62年度総合研修委員 き ま る

今年度の総合研修委員選出のための選挙が、去る5月12日～13日の両日実施され、下記の5名が選出された。

館長より委員の委嘱をうけ、この一年間職員のための研修計画と実施に活躍されることが期待される。

村岡 徹（洋書目録掛長）
菅野 博之（参考調査掛長）
松元 義正（受入掛）
塚田 弘子（逐次刊行物掛）
及川恵美子（参考調査掛）

昭和61年度特別図書購入報告

特別図書購入費（文部省配分）によって下記資料を購入し、本館に備え付けましたので、御利用下さい。

番号	資 料 名	出版形態	内 容	備 考
1	Analysis. Vol. 32-43. 1971-83. (分析)	reprint	現代英米の分析哲学に関する重要な研究誌である。	既蔵 Vol. 1-22, 24.
2	Correspondance et Souvenirs de Marcel Proust. 1985. (ブルースト書簡集)	reprint	現代フランスの代表的文学者である ブルーストの書簡を集めたもので、 ブルースト研究の基本的資料である。	
3	Early English Books. STC II Unit 57-59. 1985-86. (初期英語印刷文献集成)	micro film (35mm)	1475年から1700年の間にイギリス、 スコットランド、英領アメリカ各州 で刊行された主要な英語書籍をマイ クロフィルムに収録した文献集成で ある。	既蔵 STC II Unit 1-56.
4	London Directories from the Guildhall Library. 1677-1855. (ギルドホール・ライブラリー 所蔵ロンドン商工人名録)	micro film (35mm)	ロンドン市の商工人名録で、居住者 名、職業名、財産額などの記録を含 み、近世から近代にかけてのロンド ン市の居住地の構成、社会層の構成、 人口の変動の研究にとって重要かつ 基礎的資料である。	
5	Nouvelle Revue Historique de Droit Francais et Etranger. Ser. 3. Vol. 1-45. 1877-1921. (フランス及び諸外国法学歴史雑誌)	reprint	主としてローマ法及びフランス法で、 古代から現代までのフランス及び外 国の法制度、政治制度の歴史に関す る論文、書誌、関連分野の動向など も収録している。	
6	Phronesis: Journal of Ancient Philosophy. Vol. 1-21. 1955-76. (実践理性)	original	古代哲学に関する重要な研究誌であ る。	
7	Radical Periodicals in Great Britain 1) Free Enquirer. Ser. I. Vol. 1-3. 1825-28. Ser. II. Vol. 1-5. 1828-33. Ser. III. Vol. 1-2. 1833-35. 2) Gorgon. No. 1-49. 1818-19. 3) London Phalanx. No. 1-69. 1841-43. 4) National; A Library for the People. No. 1-26. 1839. 5) National Reformer and Manx Weekly Review of Home and Foreign Affairs. N.S. No. 1-35. 1846-47. 6) Politics for the People; Or a Salmagundy for Swine. Vol. 1-2. 1794-95. 7) Poor Man's Guardian. No. 1-238. 1831-35. (英国急進的刊行誌)	reprint	1) 「ニューハーモニー新聞」の後 進誌でオーエン主義・急進主義運 動の代表誌。 2) F・ブレースの協力を得て刊行 されたペンタム主義の労働運動誌。 3) オーエンの弟子H・ドーティ編 集のフーリエ主義の雑誌。 4) W・リントン編集の労働者教育 啓蒙誌。 5) J・B・オブライエン編集のチ ャーチスト運動誌。 6) ジャコバン主義者P・I・イー トン編集のイギリス最初の急進的 雑誌。 7) 労働問題と階級闘争を主張した 急進主義者の論文を掲載した重要 誌。	
8	Studien und Dokumentationen zur Deutschen Bildungsgeschichte. 1976-82. (ドイツ教育史研究叢書)	original	ドイツ国際研究所の教育史研究部門 によって編集されたドイツ教育史に 関する論文集であり、主要論文の他 に研究動向、書評なども掲載されて いる。	
9	伊達家財用方文書	未出版、 未活字化	江戸時代後期の仙台藩伊達家の財政 関係の文書で、藩政史研究上の重要 な資料である。	
10	教育の世紀 <全17巻>	復 刻 版	大正デモクラシー期にリベラルな教 育実践を展開した教育の世紀社の理 論誌。	

昭和61年度上半期文献複写実績

国立大学等図書館間で取扱われた文献複写の本学に於ける昭和61年度上半期（4月～9月）分実績は下記のとおりです。

図 書 館 名	支払区分	受 付		依 頼	
		件 数	金 額 (円)	件 数	金 額 (円)
附 属 図 書 館	校 費	321	366,810	107	122,960
	私 費	120	103,515	221	243,118
	合 計	441	470,325	328	366,078
医 学 分 館	校 費	1,231	540,925	179	94,635
	私 費	658	262,835	136	67,089
	合 計	1,889	803,760	315	161,724
工 学 分 館	校 費	372	180,205	161	114,732
	私 費	23	14,085	8	33,023
	合 計	395	194,290	169	147,755
農 学 分 館	校 費	287	112,730	65	20,705
	私 費	45	12,935	75	29,360
	合 計	332	125,665	140	50,065
北 青 葉 山 分 館	校 費	513	436,405	43	26,740
	私 費	53	49,890	111	69,685
	合 計	566	486,295	154	96,425
合 計	校 費	2,724	1,637,075	555	379,772
	私 費	899	443,260	551	442,275
	合 計	3,623	2,080,335	1,106	822,047

昭和61年度上半期（4月～9月）分文献複写受付および依頼国立大学図書館別実績は下記のとおりです。

図 書 館 名	受 付			図 書 館 名	依 頼		
	支払区分	件数	金 額 (円)		支払区分	件数	金 額 (円)
北 大 図	校 費	19	32,160	北 大 図	校 費	6	16,075
	私 費	1	1,140		私 費	11	8,250
	合 計	20	33,300		合 計	17	24,325
岩 大 図	校 費	18	17,045	岩 大 図	校 費	1	205
	私 費	2	3,815		私 費	10	3,985
	合 計	20	20,860		合 計	11	4,190
秋 大 図	校 費	12	7,405	山 大 図	校 費	0	0
	私 費	1	575		私 費	12	6,745
	合 計	13	7,980		合 計	12	6,745
筑 大 図	校 費	9	4,610	筑 大 図	校 費	1	1,590
	私 費	2	1,285		私 費	18	7,925
	合 計	11	5,895		合 計	19	9,515
東 工 大 図	校 費	4	3,765	東 大 図	校 費	17	20,610
	私 費	5	1,895		私 費	27	46,844
	合 計	9	5,660		合 計	44	67,454
東 学 大 図	校 費	2	10,105	東 工 大 図	校 費	31	9,555
	私 費	7	9,300		私 費	0	0
	合 計	9	19,405		合 計	31	9,555
京 大 工 図	校 費	14	3,235	一 橋 大 図	校 費	4	9,680
	私 費	0	0		私 費	30	41,059
	合 計	14	3,235		合 計	34	50,739
阪 大 図	校 費	3	2,590	金 大 図	校 費	1	890
	私 費	10	11,840		私 費	10	5,800
	合 計	13	14,430		合 計	11	6,690
岡 大 図	校 費	8	23,995	京 大 図	校 費	3	14,770
	私 費	1	665		私 費	11	33,410
	合 計	9	24,660		合 計	14	48,180
福 教 大 図	校 費	2	1,150	広 大 図	校 費	5	10,210
	私 費	8	11,455		私 費	11	42,430
	合 計	10	12,605		合 計	16	52,640
そ の 他	校 費	230	260,750	そ の 他	校 費	38	39,375
	私 費	83	61,545		私 費	81	46,670
	合 計	313	322,295		合 計	119	86,045

中央図書館受付および依頼件数の多い上位10の国立大学図書館を掲げた。

お知らせ

○利用証の交付について

東北大学附属図書館（本館・4分館）を利用する方は、下記の場所で利用者登録をし、利用証の交付を受けて下さい。利用証がないと図書館の利用ができませんのでご注意下さい。

（交付場所）	（利用者の所属部局）
本 館	川内地区の各部局
医 学 分 館	星陵地区の各部局（歯・医短・抗研を除く）
北青葉山分館	理学部・薬学部
工 学 分 館	工学部
農 学 分 館	農学部

部局図書室 歯学部・医療短大部・抗酸菌病研究所・研究所（片平地区）・センター

○開館時間について

昭和62年度の開館時間は、下記の通りです。

開 館 時 間	実 施 期 間
平 日：9時～20時	昭和62年4月10日(金)～7月23日(木)
土曜日：9時～17時	〃 9月8日(火)～12月22日(火)
	昭和63年1月8日(金)～2月20日(土)
平 日：9時～17時	上記以外の期間（春・夏・冬季休業期間）
土曜日：9時～12時30分	

人 事 異 動

発令年月日	旧 官 職	氏 名	新 官 職	備 考
62. 4. 1	整理課 専門員	阿 部 寿 雄	医学分館 事務長	昇 任
〃	整理課 和漢書目録掛長	小 野 和 夫	総務課 専門員	配 置 換
〃	総務課 庶務掛長	山 影 恭 久	大型計算機センター庶務掛長	〃
〃	医学部附属病院総務課 庶務掛長（庶務班主査）	志 賀 豊	総務課庶務掛長（総務班主査）	〃
〃	総務課 会計掛長	男 沢 耕 司	医学部附属病院医事課 中央検査事務掛長	〃
〃	大型計算機センター業務掛長	高 橋 宏 知	総務課 会計掛長	〃
〃	整理課 受入掛長	湯 本 一 義	総務課 学術情報掛長	〃
〃	工学分館 管理掛長	橋 原 孝 夫	整理課 受入掛長	〃
〃	閲覧課 閲覧掛長	佐 藤 定 夫	整理課 和漢書目録掛長	〃
〃	農学分館 図書掛長	武 田 光 佳	閲覧課 閲覧掛長	〃
〃	総務課 企画・渉外掛長	菅 沢 栄 治	閲覧課 相互利用掛長	〃
〃	閲覧課 相互利用掛長	五十嵐 行 衛	農学分館 図書掛長	〃
〃	整理課 文部事務官	阿 部 佳 市	医学分館 整理掛長	昇 任
〃	整理課 文部事務官	佐 藤 義 則	総務課 文部事務官	配 置 換
〃	医学分館 文部事務官	菊 地 房 雄	整理課 文部事務官	〃
〃	総務課 文部事務官	塚 田 弘 子	整理課 文部事務官	〃
62. 5. 1	農学分館 文部事務官	前 田 裕 子	整理課 文部事務官	〃
〃	整理課 文部事務官	渡 部 昌 子	閲覧課 文部事務官	〃
〃	工学分館 文部事務官	嶺 岸 文 男	閲覧課 文部事務官	〃
〃	閲覧課 文部事務官	岩 崎 道 子	工学分館 文部事務官	〃
〃	閲覧課 文部事務官	吉 川 和 幸	工学分館 文部事務官	〃
〃	閲覧課 事務補佐員	佐 藤 公 子	整理課 事務補佐員	〃
〃	整理課 事務補佐員	佐 藤 和 子	閲覧課 事務補佐員	〃

東北大学附属図書館報「木遣子」 第12巻 第1号（通巻第45号）発行日 昭和62年5月30日

編集委員長 芳賀 博 編集委員 中島 甫、湯本一義、佐藤博子、佐藤 京

発行人 松川 衛 発行所 東北大学附属図書館 仙台市川内 電話 代表 222-1800（2403）